ユーザーズ ガイド

フラット パネル モニタvf15/vf17、FP15/FP17、L1502/L1702、L1502m/L1702m、f1523/f1723、FP5315/FP7317、L1902

製品番号：322638-294

2004年2月

このガイドでは、モニタのセットアップ、ドライバのインストール、オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用方法、トラブルの解決方法、およびモニタの仕様について説明します。

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

HP、Hewlett Packard、およびHewlett-Packardロゴは、米国Hewlett-Packard Company の米国およびその他の国における商標です。

CompaqおよびCompaqロゴは、米国Hewlett-Packard Development Company, L.P.の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。

警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ユーザーズ ガイド
フラット パネル モニタvf15/vf17、FP15/FP17、L1502/L1702、L1502m/L1702m、f1523/f1723、FP5315/FP7317、L1902
改訂第3版 2004年2月
初版 2003年2月
製品番号：322638-294

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 製品の特長

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報 2–1
保守に関するガイドライン 2–2
　モニタの清掃 2–3
　モニタの運搬 2–3

3 モニタのセットアップ

モニタ台の取り付け 3–1
モニタの接続 3–4
モニタ台の取り外し 3–7
　モニタの取り付け 3–9
製品ラベルの位置 3–10

4 モニタの操作

情報ファイルのインストール 4–1
フロント パネルの各部 4–2
モニタの設定の調整 4–5
　オンスクリーン ディスプレイの使用 4–6
　画質の調節 4–9
　デジタル コンバージョンの最適化 4–9
モニタの状態の確認 4–10
　スリープ タイマ モード 4–11
sRGBのサポート 4–13
　色温度の変更 4–13
　Microsoft Windows 98、Windows ME、Windows 2000、および Windows XPへのsRGB ICMファイルのインストール 4–14

A トラブルシューティング
一般的なトラブルの解決方法 A–1
インターネットWebサイト A–2
お問い合わせになる前に A–3

B 技術仕様
ユーザ モードの使用 B–5
エナジー セーブ機能 B–5

C 規定に関するご注意
各国別勧告 C–1
Federal Communications Commission Notice C–1
Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States Only C–2
Canadian Notice C–3
Avis Canadien C–3
European Notice C–3
Korean Notice C–3
国際エネルギー スター プログラム C–4
電源コードの要件 C–4

D LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針

1

製品の特長

このフラット パネル モニタでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）液晶ディスプレイ（LCD）を採用しています。このモニタの特長は以下のとおりです。

vf15、FP15、L1502、L1502m、f1523、およびFP5315モデル

- 表示領域15インチ（対角長38.1 cm）のディスプレイ
- 1024×768の解像度以下でフル スクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下の向きを調整可能
- 設置場所に応じて取り外しができるモニタ台およびVESA基準の7.5 cm間隔の取り付け穴
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語）
- 情報ファイル（INF）、Image Color Matchingファイル（ICM）、および製品のマニュアルが含まれるSoftware and Reference Library CD
- 国際エネルギー スター プログラム（Energy Star）に準拠したエナジー セーブ機能
- セキュリティ ロック スロット
- 資産管理
- フロント パネルのスピーカ（マルチメディア モデルのみ）

- 以下の規定に準拠
  - 国際エネルギー スター プログラム（EPA Energy Star）
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990
  - Swedish TCO

vf17、FP17、L1702、L1702m、f1723およびFP7317モデル

- 表示領域17インチ（対角長43.2 cm）のディスプレイ
- 1280×1024のネイティブ解像度以下でフル スクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下の向きを調整可能
- 設置場所に応じて取り外しができるモニタ台およびVESA基準の10 cm間隔の取り付け穴
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語）
- 情報ファイル（INF）、Image Color Matchingファイル（ICM）、および製品のマニュアルが含まれるSoftware and Reference Library CD
- 国際エネルギー スター プログラム（Energy Star）に準拠したエナジー セーブ機能
- 資産管理
- フロント パネルのスピーカ（マルチメディア モデルのみ）
- 以下の規定に準拠
  - 国際エネルギー スター プログラム（EPA Energy Star）
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990
  - Swedish TCO

L1902モデル

- 表示領域19インチ（対角長48.3 cm）のディスプレイ
- 1280×1024のネイティブ解像度以下でフル スクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下の向きを調整可能
- 設置場所に応じて取り外しができるモニタ台およびVESA基準の10 cm間隔の取り付け穴
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語）
- 情報ファイル（INF）、Image Color Matchingファイル（ICM）、および製品のマニュアルが含まれるSoftware and Reference Library CD
- 国際エネルギー スター プログラム（Energy Star）に準拠したエナジー セーブ機能
- 資産管理
- 以下の規定に準拠
  - ❏ 国際エネルギー スター プログラム（EPA Energy Star）
  - ❏ European Union CE Directives
  - ❏ Swedish MPR II 1990
  - ❏ Swedish TCO

2

安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニタには電源コードが付属しています。別のコードを使用する場合は、適切な電源および接続先のみを使用してください。モニタに接続する適切な電源コードについては、付録Cの「電源コードの要件」を参照してください。

警告：感電や装置の損傷を防止するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にあるACコンセントに接続してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

警告：安全のために、電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にあるコンセントに接続してください。モニタから完全に電源を切る必要があるときは、プラグ部分をしっかりと持ってコンセントから電源コードを抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。

注意：モニタおよびコンピュータの保護のために、コンピュータおよび周辺装置（モニタ、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをお勧めします。

保守に関するガイドライン

モニタの性能を向上させ長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニタのキャビネットを開けたりモニタを自分で修理したりしないでください。このマニュアルに記載されている調整機能のみ使用してください。正常に動作しない場合や、モニタを落としたり破損したりした場合には、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- AC電源は、モニタ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPSまたはA）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニタは、手が届きやすい場所にあるACコンセントの近くに設置します。電源コードをACコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- モニタを使用していないときには、モニタの電源を切るようにしてください。スクリーン セーバ プログラムを使用したり、モニタを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニタを長くお使いいただけます。
- モニタを清掃するときには、必ず電源コードをACコンセントから外します。液体クリーナやスプレー式クリーナは使わずに、軽く湿らせた布で拭いてください。布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、静電防止用の市販のクリーナを使います。

注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタや画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面や画面が損傷することがあります。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。

- モニタを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニタは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタ台を取り外すときは、モニタの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロント パネルを下にして置いてください。

モニタの清掃

以下の手順に従って、モニタを清掃します。

1. モニタとコンピュータ本体の電源を切ります。
2. 画面およびキャビネットを清潔な柔らかい布で拭いて、ほこりを取り除きます。

布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、イソプロピル アルコールで湿らせた清潔な布を使います。

注意：ベンジン、シンナーなどの揮発性の溶剤を使ってモニタの画面やキャビネットを拭かないでください。このような化学薬品を使うと、モニタが損傷することがあります。また、LCD 画面の清掃には水を使用しないでください。

モニタの運搬

モニタを運搬する場合は、モニタ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3

モニタのセットアップ

モニタをセットアップするには、モニタ、コンピュータ システム、およびコンピュータに接続されているその他の装置の電源が切られていることを確認してから、以下の手順で操作します。

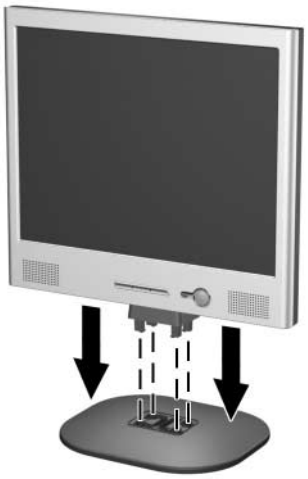
モニタ台の取り付け

モニタ台を取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. 台を机やテーブルなどの上に置き、台の裏にある矢印が手前を向いていることを確認します。

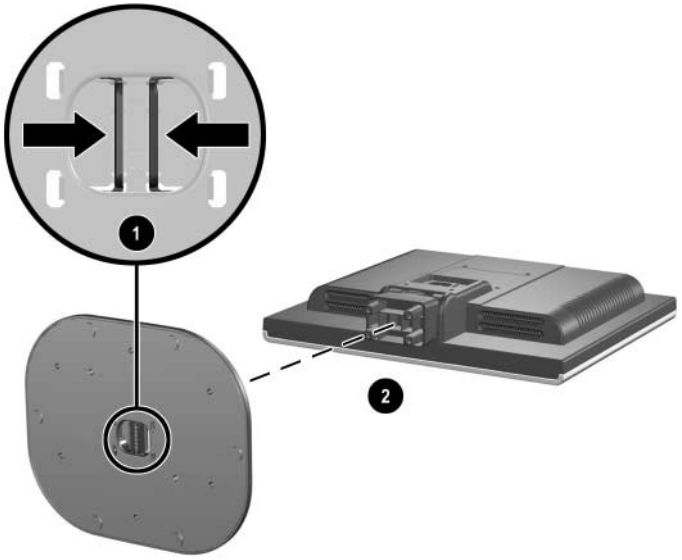
モニタを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付ける場合は、モニタ台を取り付けずに、この章の「モニタの取り付け」を参照してください。

2. 両手を使ってモニタをモニタ台の上で持ち、しっかりと押し下げて台を所定の位置に固定します。台が固定されるとカチッという音がします。セットアップを続ける前に、モニタ台がしっかりと固定されていることを確認します。



モニタ台へのモニタの取り付け

モニタ台を取り外す必要がある場合は、表面が柔らかいしっかりとした作業台にフロント パネルを下にして置きます。下の図のように、台の底面にある2つのタブを同時に押してください❶。これで、モニタ台がモニタから外れます❷。



モニタ台の取り外し

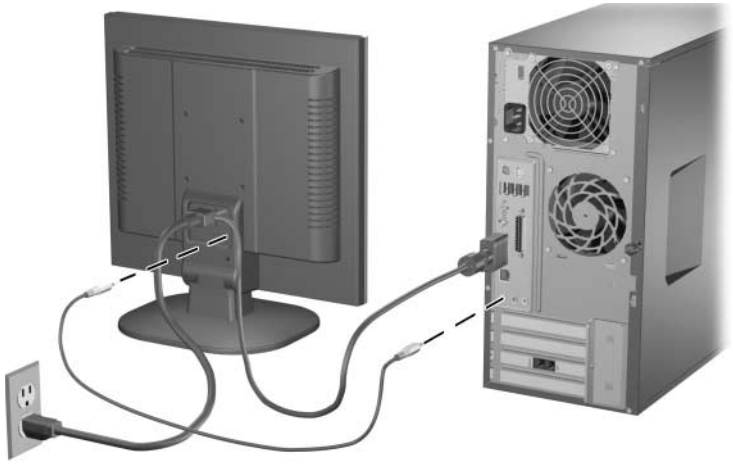
モニタの接続

1. モニタを、作業がしやすく通気のよい、コンピュータの近くの場所に置きます。
2. モニタの背面にあるモニタの信号ケーブルをコンピュータのリアパネルのビデオ コネクタに接続します。
3. 電源ケーブルの一方の端をモニタの背面に接続し、もう一方の端をACコンセントに接続します。

電源コンセントの形状は国や地域により異なります。

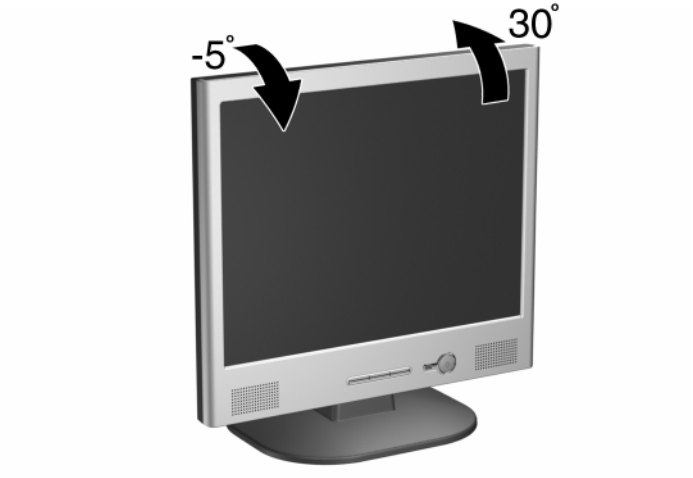
VGAケーブルおよび電源ケーブルの接続

4. モニタがマルチメディア モデルの場合は、オーディオ ケーブルの一方の端をモニタの背面に接続し、もう一方の端をコンピュータの背面にあるオーディオ コネクタに接続します。



オーディオ ケーブルの接続

5. 必要に応じて、使いやすい角度にモニタの上下の向きを調節します。



モニタの向きの調節

注意：モニタに長時間一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニタ画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーン セーバ アプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニタを使用しないときはモニタの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。

警告：感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。
- 電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にある AC コンセントに接続してください。
- モニタへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを AC コンセントから抜いてください。
- 電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

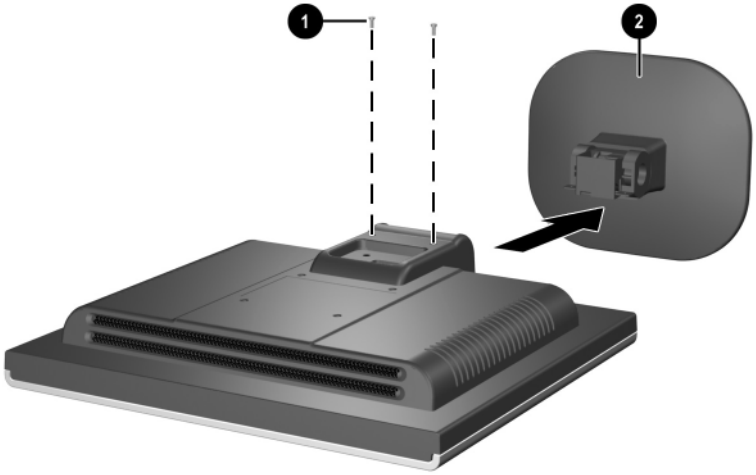
モニタ台の取り外し

モニタを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けるために、モニタ台を取り外すことができます。取り外しを行う前に、以下の注意および警告をお読みください。

注意：モニタの取り外し作業を始める前に、モニタの電源が切られていること、および電源ケーブルと信号ケーブルを取り外してあることを確認してください。モニタにオーディオ ケーブルが接続されている場合は取り外します。

警告：モニタを立てた状態で台をモニタから取り外さないでください。モニタの表面を傷をつけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロント パネルを下にして置いてください。また、モニタを台から取り外す前に、台が最大限まで拡張されていることを確認してください。台が拡張されていない状態でモニタを立てた状態のまま台から取り外そうとすると、怪我をするおそれがあります。

1. モニタの背面から信号ケーブルおよび電源ケーブルを取り外します。
2. 下の図に示すように、2本のネジ❶を取り外します。



モニタ台の取り外し

注意：モニタから台を取り外す前に、台の底部が作業台の外に出ていないことを確認してください。

3. モニタから台❷を取り外します。

モニタの取り付け

1. モニタ台を取り外します。この章の「モニタ台の取り外し」を参照してください。

   モニタから台を取り外すと、モニタの背面に固定器具への取り付けに使用する4つの穴があることがわかります。これらの穴は7.5～10 cm間隔で配置されており、VESA（Video Electronics Standard Association）が定めるフラット パネル ディスプレイの設置規準に準拠しています。VESA準拠の7.5 cm間隔の穴は15インチのモニタのみ、10 cm間隔の穴は17インチおよび19インチのモニタのみサポートします。

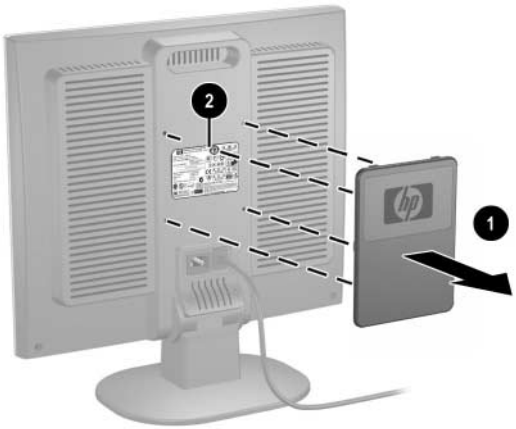
2. 使用する固定器具に付属の説明書を参照して、モニタをスイングアームやその他の固定器具に取り付けます。

製品ラベルの位置

モニタの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニタについてHPにお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

FP15、FP17、vf17、L1502、および L1702 モデルの製品ラベルを確認するには、以下に示すように背面のカバーを取り外します。

1. 背面のカバーを取り外します❶。
2. 背面のカバーのすぐ下に、モニタの交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載された製品ラベル❷が貼付されています。



L1902モデルの製品ラベルは、モニタ背面の左下隅に貼付されています。

4

モニタの操作

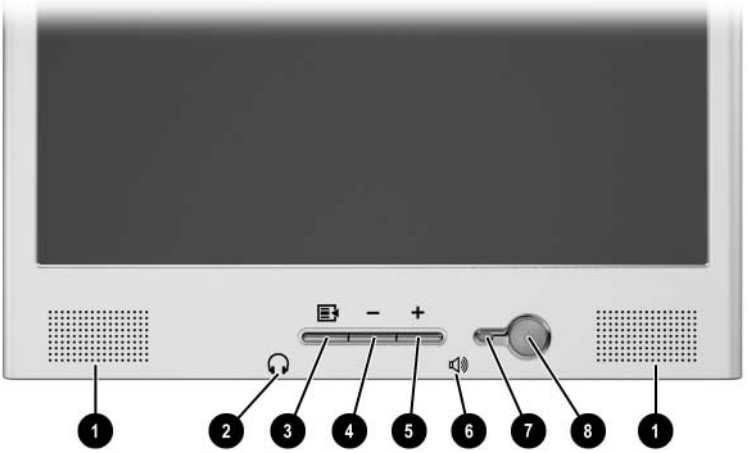
情報ファイルのインストール

このモニタに同梱されているCD-ROMには、コンピュータにインストールする2つの情報ファイル（INFファイルおよびICMファイル）が収録されています。

- INFファイルは、モニタ リソースを定義し、サポート ソフトウェアを特定のハードウェア デバイスにインストールするためにほとんどのオペレーティング システムが必要とする仕様を提供します。INFファイルは、モニタとお使いのコンピュータのグラフィックス アダプタとの互換性を確保し、設定を最適化します。INFファイルは、http://www.hp.com/support/から希望するモニタを選択し、ダウンロードすることもできます。
- ICMファイルは、モニタ画面からプリンタの色調を調整するためのグラフィックス プログラムとともに使用され、グラフィックス プログラムの実行時に有効になります。

これらのファイルをコンピュータにインストールするには、Software and Reference Library CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入し、CDのメイン メニューから[Install INF and ICM Files]（INFファイルとICMファイルのインストール）を選択して、画面の指示に従って操作します。

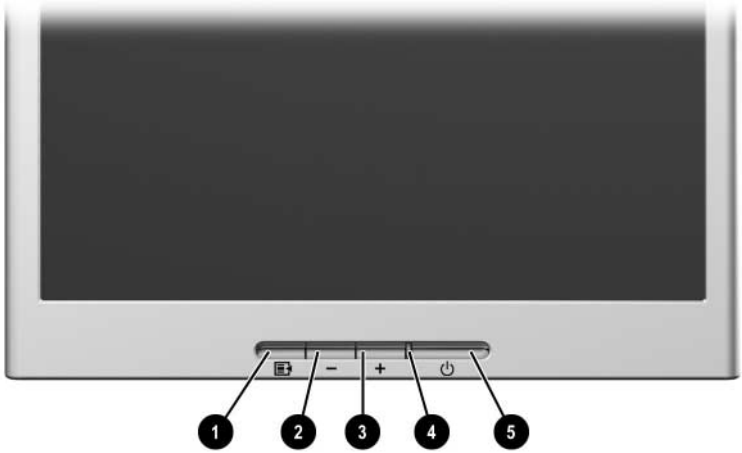
フロント パネルの各部



L1502m、L1702m、f1523、f1723、FP5315、およびFP7317モデル

番号	名称	機能
❶	スピーカ	音楽やアラームなどの音声を出力します （マルチメディア モデルのみ）
❷	（ヘッドフォン コネクタ）	ヘッドフォン セットをモニタに接続します
❸	メニュー ボタン	オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューおよび一部の機能を表示します

番号	名称	機能
❹	－（マイナス ボタン）	• OSDが表示されていないときに、画面を自動調整します • OSDが表示されているときに、OSD内を反対方向に移動したりOSDのスケールを調整したりするために使用します
❺	＋（プラス ボタン）	OSDが表示されているときに、OSD内を移動したりOSDのスケールを調整したりするために使用します
❻	 （ボリューム コントロール）	モニタ スピーカの音量レベルを調節します
❼	電源ランプ	電源が入っている状態：緑色 スリープ モード：オレンジ色 スリープ タイマ モード：オレンジ色に点滅
❽	電源スイッチ	モニタの電源をオンまたはオフにします



フラット パネル モニタFP15、FP17、L1502、L1702、vf15、vf17、およびL1902

番号	名称	機能
❶	メニュー ボタン	オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューおよび一部の機能を表示します
❷	－（マイナス ボタン）	• OSDが表示されていないときに、画面を自動調整します • OSDが表示されているときに、OSD内を反対方向に移動したりOSDのスケールを調整したりするために使用します
❸	＋（プラス ボタン）	OSDが表示されているときに、OSD内を移動したりOSDのスケールを調整したりするために使用します
❹	電源ランプ	電源が入っている状態：緑色 スリープ モード：オレンジ色 スリープ タイマ モード：オレンジ色に点滅
❺	電源スイッチ	モニタの電源をオンまたはオフにします

モニタの設定の調整

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を使用して、ユーザの好みに応じて画面表示を調整します。OSDにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源が入っていない場合は、電源スイッチを押してモニタの電源を入れます。
2. OSDメニューにアクセスするには、モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押します。

3. OSDメニュー内を移動するには、モニタのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。
4. OSDメニューから項目を選択するには、＋ボタンか－ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、メニュー ボタンを押して機能を選択します。
5. フロント パネルの＋ボタンか－ボタンを押してスケールを調整します。
6. 機能を調整したら[Save and Return]（保存して戻る）を選択するか、設定を保存しない場合は[Cancel]（キャンセル）を選択し、[Main Menu]（メイン メニュー）から[Exit]（終了）を選択します。

メニューが表示されているときに10秒以上ボタンを押さない場合、調整が無効になり、以前の設定に戻ってメニューが終了します。

オンスクリーン ディスプレイの使用

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューには2種類あり、1つでは基本的な調整を行い、もう1つでは拡張機能の調整を行います。

OSDの[Basic Menu]（基本メニュー）を表示するには、モニタのフロント パネルのメニュー ボタンを押します。

OSDの基本メニュー

メニュー レベル1	メニュー レベル2
Brightness（輝度）	調整用スケール
Contrast（コントラスト）	調整用スケール
Auto Adjustment（自動調整）	
Advanced Menu（拡張メニュー）	
Exit（終了）	

OSDの拡張メニューを表示するには、もう一度メニュー ボタンを押すか、OSDの[Basic Menu]から[Advanced Menu]（拡張メニュー）を選択します。

[Basic Menu]から[Advanced Menu]を選択すると、モニタの起動時に[Advanced Menu]がデフォルトのOSDに設定されます。この設定は、[Basic Menu]を選択するか、モニタを工場出荷時の状態に戻すまで有効になります。

OSDの拡張メニューには最大3つのサブレベルがあります。このモニタには日本語のメニュー表示はありませんので、次のページの表を参照して画面設定を行ってください。表には、それぞれのレベルの機能が示されています。

OSDの拡張メニュー レベル			
レベル1	**レベル2**	**レベル3**	**工場出荷時設定**
Brightness（輝度）	調整用スケール		はい
Contrast（コントラスト）	調整用スケール		はい
Image Control（イメージ コントロール）	Auto Adjustment（自動調整）	（調整中のメッセージ）	はい
	Horizontal Position（水平表示位置）	調整用スケール	はい
	Vertical Position（垂直表示位置）	調整用スケール	はい
	Clock（クロック）	調整用スケール	はい
	Clock Phase（クロック フェーズ）	調整用スケール	はい
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return（保存して戻る）		
Color（色）	9300 K		
	6500 K		はい
	Custom Color（カスタム カラー）	Custom Color Adjustment（カスタム カラー調整）	
	sRGB		
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return（保存して戻る）		
Language（言語）	Deutsch（ドイツ語）		
	English（英語）		いいえ
	Espanol（スペイン語）		
	Francais（フランス語）		
	Italiano（イタリア語）		
	Nederlands（オランダ語）		
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return（保存して戻る）		

OSDの拡張メニュー レベル（続き）

レベル1	レベル2	レベル3	工場出荷時設定
Management（マネジメント）	Power Saver（エナジーセーブ）	On（オン）Off（オフ）	いいえ
	Power On Recall（再開時に電源オン）	On（オン）Off（オフ）	いいえ
	Mode Display（モード表示）	On（オン）Off（オフ）	いいえ
	Sleep Timer（スリープ タイマ）	タイマ用メニュー	
	Basic Menu（基本メニュー）		
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return（保存して戻る）		
OSD Control（オンスクリーンメニューコントロール）	Horizontal Position（水平表示位置）	調整用スケール	いいえ
	Vertical Position（垂直表示位置）	調整用スケール	いいえ
	OSD Timeout（OSDタイムアウト）	調整用スケール	いいえ
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return（保存して戻る）		
Factory Reset（工場出荷時設定）	Yes（はい）		
	No（いいえ）		
Exit（終了）			

画質の調節

画質を調整する場合は、モニタの電源を入れてから20分間のウォームアップ時間をとり、画像が安定した状態で以下の手順で操作してください。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの[Auto Adjustment]（自動調整）機能を使用すると、新しいビデオ モードが表示されるたびに自動的に画質が調整されます。さらに画質の調整を行う必要がある場合は、付属のCDに収録されている自動調整用のソフトウェアを実行し、モニタのフロント パネルのー（マイナス）ボタンを押して手動で自動調整機能を有効にします。

より正確に調整するには、付属のCDに収録されている自動調整用のソフトウェアを実行し、モニタの[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）機能を使用して画質を調整します。

デジタル コンバージョンの最適化

このモニタには、フラット パネルの最新の回路が搭載されており、標準のモニタと同じような機能を備えています。オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの[Clock]および[Clock Phase]を調節して、画質を向上させることができます。自動調整機能を使用しても希望する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておきます。

- [Clock]：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- [Clock Phase]：画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェアを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）の設定値を調整しているときにモニタの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューの[Factory Reset]（工場出荷時設定）から[Yes]（はい）を選択します。

モニタの状態の確認

モニタが以下の状態になると、特別なメッセージがモニタ画面に表示されます。

- Input Signal Out of Range：解像度およびリフレッシュ レートがモニタでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニタが入力信号をサポートできないことを示します。15インチ モニタでは解像度を1024×768、リフレッシュ レートを60 Hzにそれぞれ設定します。17インチおよび19インチ モニタでは解像度を1280×1024、リフレッシュ レートを60 Hzに設定します。コンピュータを再起動すると、新しい設定が有効になります。
- Going to Sleep：モニタがスリープ モードになることを示します。
- Check Video Cable：ビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されていないことを示します。
- OSD Lock：フロント パネルにあるメニュー ボタンを10秒間押し続けると、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を有効または無効にすることができます。OSDをロックすると、[OSD Lock]（OSDのロック）という警告メッセージが10秒間表示されます。
  - ❏ OSDがロックされている場合、ロックを解除するにはメニュー ボタンを10秒間押し続けます。
  - ❏ OSDのロックが解除されている場合、ロックするにはメニュー ボタンを10秒間押し続けます。

スリープ タイマ モード

スリープ タイマ モードは、毎日同じ時刻にモニタの電源を入れたり切ったりするように設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニタのバックライトの寿命を延ばすことができます。スリープ タイマ モードには5つの設定があります。

- Set Current Time（現在時刻の設定）
- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer: On/Off（タイマ：オン/オフ）
- Sleep Now（スリープ モードの実行）

タイマを設定するには、以下の手順で操作します。

1. モニタのフロント パネルのメニュー ボタンを押してメニュー レベル1を表示します。[Basic Menu]（基本メニュー）が表示されている場合は手順2に、[Advanced Menu]（拡張メニュー）が表示されている場合は手順3に進みます。
2. メニューを下に移動して[Advanced Menu]を強調表示します。
3. メニュー ボタンを押して[Management]（マネジメント）を選択します。
4. メニューを下に移動して[Sleep Timer]（スリープ タイマ）、[Set Current Time]（現在の時刻の設定）の順に強調表示し、選択します。

必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから[Sleep Time]（電源オフの時刻）や[ON Time]（電源オンの時刻）を設定してください。時刻は24時間単位で表示されます。たとえば、午後1時15分は13時15分と表示されます。

5. メニュー ボタンを一度押すと、調整モードとなり、時間が点滅します。
6. マイナス（−）ボタンおよびプラス（＋）ボタンを押して時間を設定します。

7. メニュー ボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. マイナス（−）ボタンおよびプラス（＋）ボタンを使って分を設定します。
9. メニュー ボタンを押すと、設定した時刻が確定します。
10. 現在時刻を設定すると、自動的に[Set Sleep Time]（電源オフの時刻の設定）へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順6〜9を繰り返し行って電源オフの時刻を調整します。
11. 電源オフの時刻を設定しない場合は、メニュー ボタンを 2 回押し、[Save and Return]（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。
12. 電源オフの時刻を設定すると、自動的に[Set On Time]（電源オンの時刻の設定）へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順6〜9を繰り返し行って電源オンの時刻を調整します。
13. [Timer]（タイマ）のモードを[ON]（オン）に設定し、スリープ タイマの設定を起動します。
14. 設定が完了したら、[Save and Return]を押してメニューを終了します。

5番目の選択項目[Sleep Now]（スリープ モードの実行）を選択すると、モニタのバックライトがオフになり、スリープ モードになります。設定した電源オンの時刻になるか、またはモニタ ボタンを押すと、電源がオンになります。

sRGBのサポート

お使いのモニタは、色管理の技術としてsRGBをサポートするように設計されています。sRGBはイメージ テクノロジ業界で使用される色の規格に準拠しています。sRGBについて詳しくは、http://www.srgb.com（英語版のみ）を参照してください。

sRGBのサポートを活用するには、モニタの色温度をsRGBに変更し、sRGBカラー プロファイル（ICM）のファイルをインストールする必要があります。

色温度を内蔵のsRGBに設定するとコンピュータのモニタに表示されるsRGB画像の色の精度が向上しますが、それでも色が正しく再現されない場合があります。

色温度の変更

1. モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押して、OSDの[Main Menu]（メイン メニュー）を表示します。
2. [Advanced Menu]（拡張メニュー）を選択して、[Main Menu]内のすべてのオプションを表示します。
3. [Color]（色）を選択して、[Color Temperature]（色温度）メニューを表示します。
4. [sRGB]を選択します。
5. [Save and Return]（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。

Microsoft Windows 98、Windows ME、Windows 2000、およびWindows XPへのsRGB ICMファイルのインストール

以下の手順を完了するには、管理者または管理者グループのメンバとしてログインしている必要があります。コンピュータがネットワークに接続されている場合、ネットワーク ポリシーの設定によりこの手順を完了できないことがあります。

sRGB ICMファイルは、Windows® 95およびWindows NT®ではサポートされていません。

1. **[コントロール]** パネルの**[画面]**アイコンをクリックします。
2. **[画面のプロパティ]**ウィンドウで、**[設定]**タブを選択して**[詳細]**（Windows XPでは**[詳細設定]**）ボタンをクリックします。
3. **[色の管理]**タブを選択してから、**[追加]**ボタンをクリックして**[プロファイルの関連付けを追加]**ダイアログ ボックスを開きます。
4. [sRGB Color Space Profile.icm]ファイルを選択して、**[追加]**ボタンをクリックします。
5. お使いのモニタ用のカラー プロファイルをアクティブにするには、デフォルトのモニタ プロファイルとして設定する必要があります。[sRGB Color Space Profile]を選択して、**[既定値に設定]**（Windows 98では**[既定値として設定]**）をクリックします。
6. **[適用]**または**[OK]**をクリックします。

A

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源スイッチがオフになっている	電源を入れます
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは「第3章 モニタのセットアップ」を参照してください
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします

トラブル	原因	解決方法
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	モニタのフロント パネルのマイナス ボタンを押して画面を自動調整します。それでも改善されない場合は、メニュー ボタンを押してOSDの基本メニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	位置を調整する必要がある	メニュー ボタンを押してOSDの拡張メニューを表示します。[Image Control]（イメージ コントロール）の[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
[Check Video Cable]と画面に表示される	モニタのビデオ ケーブルが外れている	15ピン モニタ ビデオ ケーブルをコンピュータのVGAコネクタに接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピュータの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range] と画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、起動中に**[F8]**ファンクション キーを押してWindowsのSafeモードに入ります。設定値をサポートされている設定値に変更します。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします

インターネットWebサイト

HPのサポートWebサイト（http://www.hp.com/support/）で各種情報を提供していますので、HPのサポート窓口に問い合わせる前に、参照してみてください。

お問い合わせになる前に

お使いのモニタに問題が生じたなど、HPのテクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニタのモデル番号(フロント パネルおよびバック パネルに記載されています)
- モニタのシリアル番号（バック パネルに記載されています）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成（Windowsの**[コントロール パネル]**にあります）
- 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

B

技術仕様

すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HPのコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

vf15、FP15、L1502、L1502m、f1523、およびFP5315モデル

15インチ フラット パネル モニタ

ディスプレイ タイプ	15型（38.1 cm） TFT LCD
表示可能画像サイズ	15インチ（38.1 cm）（対角方向）
傾斜角度	-5～30°
最大質量（非梱包時）	4.2 kg
寸法（モニタ台を含む）	
高さ	356 mm
奥行き	190 mm
幅	345 mm
推奨モード	1024×768（60 Hz）
テキスト モード	720×400
ドット ピッチ	0.297（縦）×0.297（横）mm
水平周波数	30～61 kHz
垂直周波数 1502aモデル	56～76 Hz 50～76 Hz

vf15、FP15、L1502、L1502m、f1523、およびFP5315モデル

15インチ フラット パネル モニタ（続き）

環境条件	
動作保証温度：	
動作時	5～35℃
非動作時	-20～+60℃
相対湿度	20～80 %
動作保証高度：	
動作時	0～3657.6 m
非動作時	0～12192 m
電源	100～240 VAC、50/60 Hz
消費電力	40 W未満
入力端子	15ピンD-Subコネクタ（ケーブル付き）

vf17、FP17、L1702、L1702m、f1723、およびFP7317モデル

17インチ フラット パネル モニタ

ディスプレイ タイプ	17型（43.2 cm） TFT LCD
表示可能画像サイズ	17インチ（43.2 cm）（対角方向）
傾斜角度	-5～30°
最大質量（非梱包時）	6.0 kg
寸法（モニタ台を含む）	
高さ	405 mm
奥行き	198 mm
幅	379 mm
推奨モード	1280×1024（60 Hz）
テキスト モード	720×400
ドット ピッチ	0.264（縦）×0.264（横）mm
水平周波数	30～81 kHz
垂直周波数	56～76 Hz
環境条件	
動作保証温度：	
動作時	5～35℃
非動作時	-20～+60℃
相対湿度	20～80 %
動作保証高度：	
動作時	0～3657.6 m
非動作時	0～12192 m
電源	100～240 VAC、50/60 Hz
消費電力	50 W未満
入力端子	15ピンD-Subコネクタ（ケーブル付き）

L1902モデル

19インチ フラット パネル モニタ	
ディスプレイ タイプ	19型（48.3 cm） TFT LCD
表示可能画像サイズ	19インチ（48.3 cm）（対角方向）
傾斜角度	-5～30°
最大質量（非梱包時）	6.5 kg
寸法（モニタ台を含む）	
高さ	427.2 mm
奥行き	192.2 mm
幅	421.8 mm
推奨モード	1280 × 1024（60 Hz）
テキスト モード	720 × 400
ドット ピッチ	0.294（縦）× 0.294（横）mm
水平周波数	30～81 kHz
垂直周波数	56～76 Hz
環境条件	
動作保証温度：	
動作時	5～35℃
非動作時	-20～+60℃
相対湿度	20～80 %
動作保証高度：	
動作時	0～3657.6 m
非動作時	0～12192 m
電源	100～240 VAC、50/60 Hz
消費電力	240 Vで78 W
入力端子	15ピンD-Subコネクタ（ケーブル付き）

ユーザ モードの使用

次のような場合、ビデオ コントローラから送られてくる信号がプリセット モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプタを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプタを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューでモニタのパラメータを再調整する必要がある場合があります。変更はどのモードにも適用でき、メモリに保存されます。モニタには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。16のプリセット モードの他に、新たに4つのユーザ モードを登録して保存することができます。

エナジー セーブ機能

モニタが通常の動作モードのときは、電源ランプが緑色に点灯します。

このモニタでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニタは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニタの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニタが省電力状態になると、2 W未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エナジー セーブ機能の設定の手順について詳しくは、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください（エナジー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、マニュアルにより名称が異なる場合があります）。

モニタのエナジー セーブ機能は、エナジー セーブ機能を備えたコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

モニタのエナジー セーブ ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニタが省電力状態になるように設定することもできます。モニタのエナジー セーブ ユーティリティによってモニタが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色に点滅します。

C

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。ただし、一般的な注意事項などに関しては、日本語で記載しています。

Federal Communications Commission Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000

Or, call1

1-800- 652-6672

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000

Or, call

(281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Notice

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in brackets are the equivalent international standards):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN55024 (IEC61000-4-2,3,4,5,6,8,11) - Electromagnetic Immunity
- EN61000-3-2 (IEC61000-3-2) – Power Line Harmonics
- EN61000-3-3 (IEC61000-3-3) – Power Line Flicker
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

Korean Notice

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

国際エネルギー スター プログラム

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。このため、HPの製品には、エネルギー消費を削減するなどの省電力機能が搭載されています。

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは100～120 Vまたは200～240 VのAC電圧で動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品取締法または電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は0.75 mm^2/18 AWG以上、長さは1.8～3.6 mでなければなりません。使用する電源コードの種類については、HPのサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

D

LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針

このTFTモニタは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HPの製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな明るい点または暗い点が表れるという外見上の欠陥が見られる場合があります。これはどのメーカーから提供されるLCDディスプレイにも共通するもので、HP製のLCDに特有の問題ではありません。1つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル1つずつから成ります。
- 欠陥のあるピクセル全体は常に点灯している（暗い画面に明るい点が表示される）か、常に消灯しています（明るい画面に暗い点が表示される）。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセル全体より見えにくく、小さいため特定の画面背景上でのみ確認できます。

HP製のディスプレイに見られる欠陥は、最大でも次のとおりです。

- 3つの明るい点
- 5つの暗い点
- 合計5つの明るい点と暗い点
- 最大2つの、隣接する欠陥のあるピクセル（全体の幅が2.5 mm未満）

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニタを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュ レートで使用し、画面から50 cmほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ないLCDが生産されるようになることが期待されます。HPでは、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。